



訓練に参加し大人たちの指示を受ける児童たち

大規模な災害に備えて

■総合防災訓練

防災意識や災害に対する知識、災害の対応力を高めるための総合防災訓練が8月28日に行われ、約13,000人の市民が参加しました。

地頭方地区では、新たに完成した地頭方3号津波避難地・避難路（地頭方区）に地域の住民らが避難し、消火訓練や救助訓練、炊き出し訓練などを実施しました。

参加者からは「地区内各所の避難地からの迅速な情報収集が課題。今後も避難所運営訓練を積み重ねていきたい」との意見が出されました。

みんなで成長する図書館をめざし

■図書館をめぐる勉強会

まきのはらし図書館友の会による「図書館の充実を願う勉強会」（全3回）が7月に開催され、各回約60人の市民が参加しました。

勉強会では、日本児童文学者協会会員の草苅圭子氏から「図書館の社会的役割や個人の人生との深い関わり」、市教育委員の吉住幸子氏から「図書館は蔵書数だけではなく運営も大事である点」について学びました。

第3回目では図書館についてなど、市民が自ら取り組むべき提案をまとめました。



図書館について話し合いそして学び合う市民の皆さん

戦争のない平和な世界を

■平和の鐘を鳴らす集い

8月15日の「終戦の日」、平和の鐘を鳴らす集いが牧之原コミュニティセンターで開かれました。旧日本海軍の練習航空隊「大井海軍航空隊」の基地があった同センターに元隊員が集まり、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えています。

集いでは、元隊員らと子どもたちで平和の鐘を鳴らし恒久平和を祈念しました。

児童は「戦争がない平和な世界を願って鐘を鳴らしました。貴重な話を聞いて平和のありがたさを感じました」と話しました。



平和の鐘を鳴らす元隊員の吉田秀雄さんと児童



水灯ろうの幻想的な光が川面に浮かぶ

家内安全や世界平和の願いを込めて

■さがら灯ろう流し

さがら灯ろう流しが8月15日、萩間川河口の湊橋付近で行われました。

さがら灯ろう流しは、地域の有志「さがら灯ろう流しの会」が、先祖の霊を供養するとともに、子どもたちにこの相良の景色を残し、地域を元気にしたいとの思いから、平成23年に22年ぶりに復活させ開催しています。

「家内安全」や「世界平和」などの願いが書かれた灯ろうが川の兩岸から流されると、幻想的な光が川面に浮かびました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン！
カシャ！！



児童たちがお店を運営しお菓子などの商品を販売

ぼくとわたしたちの夢のまち

■キッズタウン ぼくらのまちのはら

第2回「キッズタウン ぼくらのまちのはら」が8月20日・21日、市史料館で開催されました。

イベントは、市内の小中学生が仮想のまちを運営し、「働く」「給料を貰う」「税金を納める」「消費する」といった社会の一連の仕組みを楽しく学びます。

会場には市役所や税務署、警察署などをはじめ、食べ物屋やアクセサリー屋、花屋などの魅力いっぱいのお店が並び、子どもたちが大きな声で売り込みをしていました。

また、大人向けツアーでは、子どもたちの様子をひと目見ようと、保護者の皆さんなどが次々と会場に訪れていました。

安全安心なまちづくりのために

■青色防犯パトロール車寄贈

葉山産業株式会社（波津区）が、地域貢献の一環として市が取り組む「安全安心なまちづくり」を推進するため、青色防犯パトロール車を市に寄贈しました。

8月10日、さざんかで行われた寄贈式では、葉山勝之社長から市に車が寄贈され、市長から感謝状を贈呈しました。

葉山社長は「地域の安全安心のために役立てていただきたい。そして、みんなが住みやすいまちになってほしい」と話しました。



防犯パトロール車を市に寄贈した葉山社長（写真左）



来場者の前で体操を披露するすすき幼稚園の園児たち

今年の夏も商店街が盛り上がる

■夏・夢舞台2016

商店街の活性化を目的とし、夏・夢舞台2016inミルキーウェイが8月5日、さがら・夏・夢舞台2016in本通りが6日に行われ、両会場とも多くの家族連れや若者などでにぎわいました。

5日の大沢公園では、園児や児童らによるダンスが披露されたほか、藤枝MYFCの選手とのふれあいやピンゴ大会などが行われました。

6日の本通りでは、市内各小学校のよさこいソーランやフラダンス、和太鼓の演奏などが繰り広げられ、夏の商店街を大いに盛り上げました。